



B and C Brain and Spinal Cord

東福寺 by S.Tsukumo

澤田 善郎 理事長を悼んで



会長 松本 悟

日本二分脊椎水頭症研究振興財団澤田善郎理事長は、かねてから病氣療養中の所、11月17日、肺炎のため逝去されました。享年87歳でありました。

顧みまして、澤田さんと私との出逢いは、1971年に遡りますが、当時私は新設の神戸大学脳外科教室に赴任した直後の事でありました。

一方、澤田さんご自身は、1960年に、神戸市須磨区の地に、医療法人慈恵会新須磨病院を設立され、病院の理事長として地域医療に尽されておりました。

当時は専門診療科としての脳外科を開設していた市中病院はむしろ稀でありましたが、澤田さんは早くからその有用性を予見され、大学からの専門医派遣を求められておりました。

その後、新須磨病院は、神戸大学脳外科の有力な関連病院の一つとして、様々な形で教室を支えて頂きました。改めて今、半世紀に亘る澤田さんの歩みを顧みます時、其の妻さには眼をみはるものがあります。澤田さんは開院後50年の成果として、新須磨病院を旗艦とする医療法人やその関連施設、教育施設など10を越える事業を生み、完成していられました。

澤田さんとの交わりの中で、私が受けた印象を語るとすれば、澤田さんの手掛けられた事業のすべては、周到な準備を重ねられ、常に正確に先を読んでの事業であった様に思われました。又手掛けられた事業が、思わざる

不測の事態に遭遇した場合ですら、結果的には一層の発展につなぐ力をお持ちの方でありました。第三に、澤田さんは、いつまでも若さと情熱を燃やし続けられた方でもありました。

1991年、私が神戸大学脳外科教室を定年退職するに当たり、私はその後の進路を迷っていましたが、最終的には、「二分脊椎・水頭症を主体とする研究助成や啓発活動」に尽したいと思っていました。この時ご相談した澤田さんから、「協力致しましょう」との有り難い一言を頂きました。

1993年、当時の厚生省から、財団設立の認可を受け、澤田さんから、財団の基金や、その後の財団運営費など、財団設立と運営に不可欠のご支援を頂きました。

財団は、今年で発足以来、19年に達しましたが、当初以来初心を貫き、ささやかながらも今に到るまで継続して参りました。

顧みまして、財団活動が現在ありますのは、澤田さんのお力添えと、そして、多くの既知、未知の一人お一人の方々からの、大きなご支援と善意のお陰であると、感謝の言葉もありません。

澤田善郎理事長に、心からなる御冥福をお祈り申し上げます。

発行者：松本 悟

(公財) 日本二分脊椎・水頭症研究振興財団
神戸市須磨区磯馴町 4-1-6 (〒654-0047)

Tel: 078-739-1993 Fax: 078-732-7350

E-mail: jsatoshi@xa2.so-net.ne.jp

URL: <http://www.jikeikai-group.or.jp/jsatoshi/index.html>

Contents Vol.19 No.4

- | | |
|---|------|
| 1: 澤田善郎理事長を悼んで..... | 松本 悟 |
| 2: 特発性正常圧水頭症の認知障害..... | 数井裕光 |
| 4: 特発性正常圧水頭症の研究の発展と
診療ガイドラインの改定について..... | 森 悦朗 |
| 6: 事務局からのお便り | |